

# 令和3年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立和歌山盲学校	学校長名：堂本淳也	印
-----------------	-----------	---

めざす学校像 育てたい生徒像	視覚障害のある幼児児童生徒がたくましく21世紀を生きぬくために、健康・体力の向上、発達課題・生活課題の克服、自主独立精神の育成と社会参加を目指す。
本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	<p>1 生活や学習上の困難を改善し、自立していく力を養う。</p> <p>2 主体的に学ぶ意欲と態度を育成し、基礎的学力を高め、活用力をつける。</p> <p>3 キャリア教育を進め、個々の資質を高めて希望の進路を実現する。</p> <p>4 命や人権を大切にするための資質向上を図る。</p>

中期的な目標	<p>1 自立と社会参加に向けた教育課程の編成</p> <p>2 幼児児童生徒一人一人に応じたきめ細かな教育支援</p> <p>3 幼・小・中・高等部を通じたキャリア教育の推進</p> <p>4 地域を支援するセンター的機能の充実</p> <p>5 協働による信頼に根差した安全安心な学校づくりの推進</p>
学校評価の結果と改善方策の公表の方法	学校のホームページに概要を公表する。

達成度	A	十分に達成した。(80%以上)
	B	概ね達成した。(60%以上)
	C	あまり十分でない。(40%以上)
	D	不十分である。(40%未満)

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。  
 4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
重点目標					令和3年度評価(3月9日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善方策
重点目標1	幼児児童生徒の障害が多様化してきているため、一人ひとりの特性を把握し、個別の指導計画、個別の教育支援計画(つなぎ愛シート)をもとに教育支援を実施している。	日々の教育活動等において、一人一人の幼児児童生徒に対し、適切な教育内容で支援ができていないか。	前年度の課題を正確に分析し幼児児童生徒、保護者と共通理解をはかりながら、指導に反映させる。 学部間連携を深め、系統的な指導を展開する。 自立活動等において個々のニーズに合った指導計画を作成し、適切な支援を実施する。	PDCAサイクルを意識した指導を展開する。 個別の指導計画に基づく支援の実施とその確認。 教育課程及び指導内容等について検証し、さらなる実践内容の充実を図る。	一人ひとりの特性を把握し、個別の指導計画、個別の教育支援計画に基づく支援を実施した。	B	学部間連携については、行事等の中止が相次ぎ、本来できるべき事が出来なかった事もあった。また、授業等、普段の取組においてもさらなる連携が必要である。 教育課程や指導の形態について、本校の実態を踏まえた内容を検討する必要がある。
2	個々の発達段階に応じた学習はできているが、主体的に取り組むまでには至っていない。	授業研究を積極的に行い、児童生徒の主体的な学習を促す授業改善を行っているか。	各ブロックで年間計画を立て、公開授業や研究授業を実施する。 公開実践研究会において、授業を公開する。 他校の公開授業研修等に参加する。	全ての教員が研究授業を実施する。 各教科の指導の手引きをまとめる。 教育センター学びの丘や和歌山市教育委員会、近隣の小中高等学校との連携	ほぼ全員の教員が研究授業に取り組む事が出来た。 また、公開実践研究会では、新型コロナウイルス感染拡大により、公開授業は実施できなかったが、分科会において各ブロックの取組を発表し、研究を深める事が出来た。 オンライン研修の普及により、積極的に研修に参加できつつある。	B	ブロックにより、めあてや具体的な取組に違いがある。そのため、各ブロックで1年間を通じた研究テーマを設定し、継続的な取組を実施するとともに、具体的な研修方法について検討する必要がある。
3	自身の進路について希望を持っていない生徒がいるため、進路指導を充実させる必要がある。 療育各科生徒全員の国家試験合格を目指している。	生徒の勤労観・職業観を高めるための具体的な取り組みを行っているか。 国家試験合格に向けて計画的な指導をすすめているか。	各ブロックのキャリア教育や職業体験の充実をはかる。  個々に対応した指導を強化し、学力の保障と実技及び資質の向上に取り組む。	個々の実態等に応じた就業体験等を積極的に実施する。  国家試験の100%合格。	中学生の職業体験実習、高校生のインターンシップを実施した。また、個のニーズに応じた現場実習も実施できた。 国家試験合格に向け徹底した指導を行った。	A	中学生、高校生に対する実習を計画的に行うとともに、小学生に対するキャリア教育にも取り組む。 引き続き国家試験100%合格を目指し、授業づくりに取り組むとともに、計画的に補習等を行う。
4	感染症や災害等に対する対応力を高め、安全安心な学校作りに努める。 幼児児童生徒及び教職員が互いの人権を尊重する意識を高める。	幼児児童生徒の対応力を高めることができたか。 職員が常に危機管理意識を持てているか。 自他の人権を大切にすることが出来たか。	幼児児童生徒が主体的に考え行動できるように、授業形態を工夫する。 防災訓練や職員研修等を通して危機管理意識を高め、行動力を身につける。 職員の人権意識を高めるため、全職員を対象に人権研修を実施する。	PDCAサイクルを機能させながら、学習や訓練の振り返りをし、対応力評価を行う。 幼児児童生徒職員が互いを尊重し合う態度で接することが出来る。	地震・津波、火災における防災訓練を行い防災意識を高める事が出来た。 職員、幼児児童生徒が可能な限り、手洗い、消毒、マスク着用の感染症対策に取り組んだ。 年度当初に全職員を対象とした人権研修を実施した。	B	非常時持ち出し袋の保管場所や緊急薬の管理等について検討する必要がある。 今後も、互いを思いやる気持ちを大切にし、全職員が協力し合う体制作りが必要である。

学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>入学者の減少は全国的な傾向であり、課題であると考えています。これまででも入学者を増やすために様々な取組をなさっていると思いますが、引き続きよろしくお願ひします。</p> <p>盲学校の特色を生かした行事が積極的に行われてほしい。コロナの社会であっても出来る事はあると思います。</p> <p>子供が経験した出来事を否定せず、ささいなことも聞いて下さるので、自分の考えや感情も伝えられるようになってきたのではないかと思います。どんな話にも耳を傾け、共感して下さり、子供の気持ちに寄り添って下さることをとてもありがたいと思っています。</p> <p>子供が「頑張りたい」「出来るようになりたい」と思う授業内容・目標が考えられていて、毎回とても素晴らしい子供の成長、頑張っている姿が見られます。今後も、学校でしか出来ないチャレンジをどんどんやり、成長できるように期待しています。</p> <p>子供本人は楽しく授業を受けられていて、親も大変うれしく思っています。しかし、1ブロックのあり方の意味が感じられず残念です。盲教育がなくなってしまうのでつらいです。</p> <p>昨年受けられていた教育を、来年度は受けさせてもらえないでしょうか。盲学校に、子供の分かる盲教育があることは、すべての教育活動のベースになると思っています。</p>